

雙葉小学校

【理事長】 萱場 基
【校長】 渡部 祐子

〒102-0085 東京都千代田区六番町 14-1 ☎03-3263-0822 <https://www.futabagakuen-jh.ed.jp/primary/>
【交通】 J R中央線・東京メトロ丸ノ内線・南北線四ッ谷駅

「純真で、堅実な」女性を育成する 教育環境が整う学園

カトリック精神に基づく女子教育

○創立者の信奉するカトリックの精神に基づき、教育法規に従って女子教育に携わ
ることを教育方針に掲げています。

徳においては純真に、義務においては堅実に

明治5年に来日したサンモール修道会（現・幼きイエス会）が東京築地に設立
した養護施設が前身で、雙葉小学校として発足したのは明治43（1910）年のこと
です。以来、四ッ谷駅近くの校舎で、創立者メール・セン・テレーズの提唱する「地
味で上品な女子」の育成を心がけ、今日に至っています。

校訓に「徳においては純真に、義務においては堅実に」を掲げ、カトリックの精
神に基づいた女子教育の実践を特色とし、幼稚園から高等学校までの一貫教育を
行っています。

「宗教教育」「外国語教育」「情報教育」が柱

宗教教育●教育課程内に宗教の時間において、カトリックの精神の中に基づき、健
全な人格の育成を図ることをねらいとしています。授業以外にも、放課後の児童の
教えや保護者の教えを実施しています。

外国語教育●英語を正課として、外国人、日本人教師による英語教育を行っていま
す。1・2年生と5・6年生の授業はクラスを半数ずつに分けて実施しています。

情報教育●総合的学習の一環として、パソコンの授業を各学年のカリキュラムに
従って1年生から6年生まで実施しています。

クラブ活動●クラブ活動も活発に行われており、すこやかな心身の育成に大きな成
果を挙げています。

宿泊行事●日光にある学園の施設で、1年生から6年生まで宿泊を伴う高原学校を
実施しています。



沿革

明治5年、幼きイエス会会員が、布教と教育
慈善の事業のために来朝。同8年、雙葉の
前身である築地語学校を設立した。初代校長
メール・セン・テレーズが、同43年、雙葉女
子尋常小学校と附属幼稚園を設立。今日に至
るまで、建学の精神に基づく教育を展開。

2025年度募集要項【前年度】

募集人員：女子約40人
出願期間：10月1～2日の消印があるもの（郵
送出願）
出願手続き：
[2025年度募集要項（前年度）]
インターネット上での出願・登録
9月9日～10月2日
受験料25,000円支払いの後、入学願書を書留
速達で郵送
※2025年度は未定
選考日：11月1日～11月3日
※2日・3日のいずれか指定された日に保護
者の方お一人と本人の面接を行います。
合格発表：11月4日
【かかる費用】
入学料：270,000円
授業料（年額）：496,800円
施設維持費（年額）：232,800円
後援会費（年額）：72,000円

併設中学進学状況

◆雙葉中学校（女子81人）
※卒業生全員が進学

データバック

◆児童数488人／教員数36人（講師6人含む）
（24年度）
◆25年度応募者数：一
◆合格者数：一

【併設校】

○雙葉小学校附属幼稚園
○雙葉中学校・高等学校

上級学校に 進むには

小学校長の推薦により、雙葉中学校に進学できます。

「徳においては 純真に 義務においては 堅実に」

校章の十字架は、雙葉がキリスト教精神に基づく学校であることを示してい
ます。

開かれた聖書は真理の光をここに求めることを、ロザリオは祈りながら学ぶ
ことを示しています。女性の仕事のシンボルとして描かれている糸巻きは労働
を愛することを、白いマーガレットの花は清純な喜びを表しています。中央の
盾は校章に示されている教えを盾として困難を乗り越え、綬はこの精神を誇り
として生きることを表しています。

上下のフランス語は校訓で、この校章は全世界の幼きイエス会の学校で用い
られています。